



SSKP

つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1998年1月号
(No. 19)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

兄・姉・弟・妹

新年のごあいさつ
みなさん、あけましておめでとうございます。
（……とはいってみたものの、
もうすぐ1月なのですが）
つくしんぼ宛てに年賀状を頂いたみなさん、どうもありがとうございました。
節約第一主義のつくしんぼゆえ、「返事を出さないままですみません。この紙面上のありますごとに代えさせて頂きましたことを許して下さいね。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

12月20日(土) 天気 晴れ

12月といえば、これはもうクリスマスです。クリスマスといえばパーティーです。ポンキッキでも毎日クリスマスのことを叫んでいるので、知らん顔はできません。今年もつくしんぼのクリスマスパーティーは、ケーキ作りからスタートでした。台座となるスポンジケーキの上に、バニラクリームとチョコクリームを塗りたくり、色とりどりのトッピングで飾り、ローリークを立てて火をつけ出来上がり!! その出来はえに、自分のケーキは持ち帰り用にし、ちゃっかり母親のぶんを食べてる子もいました。サンタからのプレゼントは大きなお菓子の袋づめでした。余ったぶんは押し入れの中。今後の活動のあやつとなるでしょう。



つくしんぼの場合
つくしんぼに通う
子どもたちの場合も
当然、兄弟姉妹のい
うことです友人にいじ
められたり、親の注
意が障害児ばかりに
いつてしまつて愛情
不足状態になつたり
し、ストレス状態に
置かれることが多い
と言ふのです。

話はかわりますが…
最近あちこちで囁かれている話題に、障害児の兄弟姉妹の問題ということがあります。障害児と一緒に生活してきたぶん、いろんなことを理解してくれるという長所の一方、障

兄弟同志の関係
つくしんぼには専任の職員がいないため、学童保育的な活動をしたいきたいと言いつつ、母子一緒に来所する場合が日常となっています。そしてその場合、障害児の兄弟姉妹がつくしんぼと一緒に暮らすこともあります。この状況は、二人兄弟の場合に特に顕著です。自分以外の兄弟は障害児だという思いが、自然と仲間意識を芽生えさせているのでしょうか？ 理由はともかくホッとさせ

親と兄弟姉妹の差
私たちちは障害児の親です。しかも、兄弟姉妹に障害児を持ったことのない人間ばかりです。そんな私たちには、眞の意味での「障害児の兄弟姉妹の気持ち」は理解できないのかかもしれません。

そして理解できないままに「出来れば障害児の将来の面倒を兄弟姉妹にみてもらいたい」と考えてしまつたりしています。これではますます兄弟姉妹にストレスをかけるばかりになりますよね。障害児の兄弟姉妹にとっても暮らしやすい未来をつくつていなければ……。私たちはそ

うとしたみさん、どうもあります。頂いたみさん、どうもありがとうございました。うございました。

るケースの方が多いと言えます。また、養護学校の生徒の場合はもちろんですが、小学校の身障学級に通っている子どもの場合でも、地域の小学校に心障学級がないため、兄弟姉妹で別々の小学校に通っているケースも存在していました。まあ、このことについてとやかく言うつもりはないのですが……。

高学年以上 小学校も
に遊びにやつて来るケースが多くあります。
★バチの方は、竹の小枝の先に風船のゴムを丸めるようにしてくつつかて……はい、出来上りります。上がりはこんな感じです。



12月18日の活動にて、ケーナのプロの演奏家で製作もなさっている稻葉哲也さんがいらして下さり、竹を使って太鼓づくりを伝授して頂きました。さて、その作り方なのです……。

★節を取り除くようにして竹を20センチほどの長さに切斷する。★その切り口の片方の内側を布やすりで磨いて丸みをつける。

もう、これがとってもいい音色!! 単純なのにこんな素敵なかな音が出るなんて驚きです。みんなが完成した後は、さつ

そく演奏会の開始です。稻葉さんのケーナの演奏に合わせて、竹の太鼓をたたいたり、竹の筒をそのままたたいたり、ギターをひいたり。とっても楽しい演奏会となりました。

★風船の吹き口をカットし、風船を引っ張つて竹の先端にかぶせて、ピーンと張り、さらにもう一枚の風船をかぶせて、輪ゴムで止める。

賛助会ご入会・ご更新
ご寄付・ボランティア
ありがとうございました
（12月）

高尾様、坂井様、箱崎様、高倉様、稻葉様、藤元様、山田様、薄島様、大石様、曾輪様、佐藤様

